

「大学4年間で本を100冊読もう！」を合言葉に、大学生協では読書マラソンを進めています。

本を読むって面白いね、そんな気持ちをみんなでも伝えたいという想いで読書マラソンは始まりました。なんとなく本を読むことはいいことだとわかっているけど、なかなか手が出ない、何を讀んだらいいかわからない、そんな時は大学生協の読書マラソンコーナーに行ってみよう。

いろんな本に、同じ大学の学生の感想コメントが付いて並んでいます。きっと、今の自分の気持ちにぴったりな本が見つかるよ。

本を読んだら、自分もコメントを書いてみよう。読書記録を付けながら継続的に本を読む。自分が書いたコメントを読んで友達がその本を手取る。

読書が自分の世界を広げてくれるんだ。

本物のマラソンはつらいけど、読書マラソンは楽しいよ。思い立ったらさっそく生協のお店でエントリーしよう。

大学生協の選んだ「100人100冊文庫」のすすめ

文庫というのは、本当に多くのジャンルを要しています。文学でも古典だったり、明治の格調高いものであったり、現代小説であったり。そのほかにも歴史ものだったり、学術を現すものだったり、悠久の人類の知恵が集合して私たちに語りかけるものとなっています。

さて今回の「100人100冊」は、「西洋哲学編」「海外文学編」に続いてもっとも私たちに身近な「日本文学編」となりました。最近よく読まれているミステリー作家の作品やライトな純愛小説とは一線を画すものですが、明治、大正、昭和の時代に読み継がれている作家に注目をして、その作家の持ち味を生かした代表作をセレクトいたしました。知っている作家がどれだけいるか、読んでいる作品がいくつあるか売場で見えていただきながら未だ手に取ったことのない、読みたい本を発見していただけたら幸いです。

本の魅力というのは、その時代の空気感も少し残しながら、世代を超えて共感を広げることのできる作品との出会いだと思えます。名作といわれるものは、100年前のものであっても生き生きと私たちに語りかけてきます。自分で「体験」しなくても様々な人生を味わえる。思いっきり怒って、笑って、喜んで、悲しんで、泣いてもいいのです。心いっばいに「日本文学の世界」を楽しんでください。

大学生のための100人100冊

— 日本文学編 —

- ・明治から現代（1960年頃まで）の日本文学の代表的な作家100人とその著作（文庫）を各1点ピックアップしました。
- ・1タイトルで上下など複数巻のものは、上下または全巻で1点としました。
- ・リストの配列は作家の生年順です。
- ・“100人”に相応しい作家でも、文庫本が品切れの場合は止むを得ずリストから外しました。
- ・価格は2009年5月現在の税込価格です。

制作：大学生協文系委員会/東京事業連合 2009.6

大学生になったら読書マラソンを始めよう!



必読の23人

(内容紹介は各文庫目録などから抜粋しました)

- 名前(生没年)
書名(文庫名)税込価格
- (1) 夏目漱石(1867-1916)
三四郎(新潮文庫)340円
熊本から東京の大学に入学した三四郎は、心を寄せる都会育ちの女性美禰子の態度に翻弄されてしまう。青春の不安や戸惑いを描く。
- (2) 泉鏡花(1873-1939)
高野聖(新潮文庫)490円
淫心を抱いて近づく男を畜生に変えてしまう美女に出会った、高野の旅僧の幻想的な物語。独特な旋律が奏でる鏡花の世界。
- (3) 小川未明(1882-1961)
小川未明童話集(新潮文庫)460円
人間にアコがれた母人魚が、幸福になるようにと人間界に生み落とされた人魚の娘の物語「赤いろうそくと人魚」ほか傑作童話集。
- (4) 芥川龍之介(1892-1927)
羅生門(新潮文庫)380円
王朝の説話物語にあらわれる人間の心理に、近代的解釈を試みることによって己のテーマを生かそうとした王朝もの。
- (5) 江戸川乱歩(1894-1965)
屋根裏の散歩者(角川ホラー文庫)693円
世の中の全てに興味を失ってしまった男が見つけた、最後の楽しみ。それは屋根裏を歩きまわり、人間が決して他人に見せることのない醜態をのぞき見ることだった。

- (6) 井伏鱒二(1898-1993)
山椒魚(新潮文庫)460円
大きくなりすぎて岩屋の棲家から永久に出られなくなった山椒魚の狼狽をユーモア漂う筆で描く処女作。
- (7) 川端康成(1899-1972)
伊豆の踊子(集英社文庫)600円
20歳の旧制高校生が伊豆の旅で出会った清純な踊子・薫。多感な青年の淡く純粋な恋ごころを描いて、みずみずしい青春の抒情を漂わせる名作。
- (8) 梶井基次郎(1901-1932)
檸檬(新潮文庫)420円
その異常な美しさに魅惑され、買い求めた一顆のレモンを洋書店の書棚に残して立ち去る『檸檬』。昭和文学史上の奇蹟として名高い声価を得ている傑作。
- (9) 小林多喜二(1903-1933)
蟹工船(新潮文庫)420円
すべての人権を剥奪された未組織労働者のストライキを描いて、帝国主義日本の断面を抉る、日本プロレタリア文学を代表する名作。
- (10) 坂口安吾(1906-1955)
墮落論(新潮文庫)540円
誰よりも冷徹に時代をねめつけ、歴史を喰い、そして誰よりも言葉を、文学を疑いつつも、書かずにはいられなかった表現者の軌跡を辿る評論集。
- (11) 中島敦(1909-1942)
李陵・山月記(新潮文庫)380円
幼児よりの漢学の素養と西欧文学への傾倒が結実した芸術性の高い作品群。中国古典に取材した、34歳の若さで歿した著者の代表作。

- (12) 太宰治(1909-1948)
人間失格(新潮文庫)300円
生への意志を失い、廃人同様に生きる男が綴る手記を通して、自らの生涯の終わりに臨んで、著者が内的真実のすべてを投げ出した小説。
- (13) 安部公房(1924-1993)
箱男(新潮文庫)460円
ダンボール箱を頭からかぶり都市をさ迷うことで、自ら存在証明を放棄する箱男は、何を夢見るのか。謎とスリルに満ちた長編。
- (14) 三島由紀夫(1925-1970)
金閣寺(新潮文庫)580円
吃音の悩み、身も心も奪われた金閣寺の美しさ。昭和25年の金閣寺焼失に材をとり、放火犯である若い学僧の破滅に至る過程を抉る。
- (15) 星 新一(1926-1997)
ポッコちゃん(新潮文庫)500円
ユニークな発想、スマートなユーモア、シャープな風刺にあふれる小宇宙! 日本SFのパイオニアの自選ショートショート50編。
- (16) 谷川俊太郎(1931-)
二十億光年の孤独(集英社文庫)500円
ひとりの少年が1対1で宇宙と向き合い生まれた、言葉のひとつひとつ。青春の孤独と未来を見つめ、今なお愛され続ける詩人の原点。
- (17) 大江健三郎(1935-)
万延元年のフットボール(講談社文芸文庫)1575円
幕末から現代につなぐ民衆の心のみごとに形象化し、戦後世代の切実な体験と希求を結実させた画期的長編。

- (18) 寺山修司(1935-1983)
書を捨てよ、町へ出よう(角川文庫)540円
平均化された生活なんてくそ食らえ。本も捨て、町に飛び出そう。永遠の青春の旗手が贈る、自分を知る一冊。
- (19) 倉橋由美子(1935-2005)
聖少女(新潮文庫)460円
父と娘、姉と弟。禁忌を孕んだ二つの愛に挟まれた恋人たち。「聖性」と「悪」という愛の相貌を描く、狂おしく美しく危うい物語。
- (20) 宮本輝(1947-)
青が散る(上・下)(文春文庫)各490円
新設大学のテニス部員椎名燎平と彼をめぐる友人たち。青春の短い季節を駆け抜ける者、立ちどまる者。若さの不思議な輝きを描いた傑作長編小説。
- (21) 村上春樹(1949-)
世界の終りとハード・ボルド・ワンダーランド(上下)(新潮文庫)620円他
老博士がく私への意識の核に組み込んだ、ある思想回路。そこに隠された秘密を巡って同時進行する、幻想世界と冒険活劇の二つの物語。
- (22) 村上龍(1953-)
69(シクスティナイン)(文春文庫)480円
1969年。ベトナム反戦運動が高まり、基地の町・佐世保で、僕は高校をバリケード封鎖した。明るく楽しく生きる青春のエネルギーに満ちた日々を描いた永遠の古典。
- (23) 多和田葉子(1960-)
犬婿入り(講談社文庫)410円
独身女性の経営する塾に突然押しかけてきた「犬男」との奇妙な生活が始まった。都市の中に隠された民話の世界を新しい視点でとらえた傑作。

お薦めの77人

*読み終えたら□にチェックを

名前(生没年)
書名(文庫名)税込価格

森鷗外(1862-1922)
阿部一族(新潮文庫)540円 (24)

二葉亭四迷(1864-1909)
浮雲(新潮文庫)420円 (25)

尾崎紅葉(1868-1903)
金色夜叉(新潮文庫)740円 (26)

国木田独步(1871-1908)
牛肉と馬鈴薯(新潮文庫)540円 (27)

樋口一葉(1872-1896)
たけくらべ／にごりえ(角川文庫)380円 (28)

田山花袋(1872-1930)
蒲団(新潮文庫)380円 (29)

島崎藤村(1872-1943)
破戒(新潮文庫)660円 (30)

有島武郎(1878-1923)
小さき者へ(新潮文庫)300円 (31)

与謝野晶子(1878-1942)
みだれ髪(新潮文庫)420円 (32)

永井荷風(1879-1959)
墨東綺譚(角川文庫)357円 (33)

高村光太郎(1883-1956)
智恵子抄(新潮文庫)420円 (34)

志賀直哉(1883-1971)
小僧の神様(新潮文庫)500円 (35)

北原白秋(1885-1942)
北原白秋詩集(ハルキ文庫)714円 (36)

中勘助(1885-1965)
銀の匙(角川文庫)420円 (37)

武者小路実篤(1885-1976)
友情(新潮文庫)380円 (38)

石川啄木(1886-1912)
一握の砂(朝日文庫)546円 (39)

萩原朔太郎(1886-1942)
萩原朔太郎詩集(新潮文庫)460円 (40)

谷崎潤一郎(1886-1965)
春琴抄(新潮文庫)300円 (41)

折口信夫(1887-1953)
死者の書・身毒丸(中公文庫)620円 (42)

山本有三(1887-1974)
路傍の石(新潮文庫)940円 (43)

夢野久作(1889-1936)
ドグラ・マグラ(上下)(角川文庫)上540円・下620円 (44)

岡本かの子(1889-1939)
老妓抄(新潮文庫)460円 (45)

室生犀星(1889-1962)
室生犀星詩集(新潮文庫)460円 (46)

内田百閒(1889-1971)
第一阿房列車(新潮文庫)500円 (47)

宮沢賢治(1890-1933)
注文の多い料理店(新潮文庫)460円 (48)

佐藤春夫(1892-1964)
殉情詩集(講談社文芸文庫)997円 (49)

壺井栄(1900-1967)
二十四の瞳(新潮文庫)420円 (50)

稲垣足穂(1900-1977)
一千一秒物語(新潮文庫)620円 (51)

横溝正史(1902-1981)
本陣殺人事件(角川文庫)660円 (52)

小林秀雄(1902-1983)
モオツァルト(新潮文庫)500円 (53)

住井すえ(1902-1997)
橋のない川(1~4部)(新潮文庫)860円他 (54)

林芙美子(1903-1951)
放浪記(新潮文庫)780円 (55)

山本周五郎(1903-1967)
さぶ(新潮文庫)660円 (56)

森 茉莉(1903-1987)
父の帽子(講談社文芸文庫)987円 (57)

堀辰雄(1904-1953)
風立ちぬ(新潮文庫)340円 (58)

幸田文(1904-1990)
おとうと(新潮文庫)420円 (59)

伊藤 整(1905-1969)
若い詩人の肖像(講談社文芸文庫)1575円 (60)

石川達三(1905-1985)
青春の蹉跌(新潮文庫)460円 (61)

中原中也(1907-1937)
汚れつちまつた悲しみに…(集英社文庫)380円 (62)

井上靖(1907-1991)
氷壁(新潮文庫)820円 (63)

大岡昇平(1909-1988)
野火(新潮文庫)340円 (64)

松本清張(1909-1992)
点と線(新潮文庫)460円 (65)

武田泰淳(1912-1976)
ひかりごけ(新潮文庫)420円 (66)

新田次郎(1912-1980)
孤高の人(上・下)(新潮文庫)各620円 (67)

深沢七郎(1914-1987)
楢山節考(新潮文庫)380円 (68)

島尾敏雄(1917-1986)
死の棘(新潮文庫)820円 (69)

福永武彦(1918-1979)
草の花(新潮文庫)460円 (70)

大西巨人(1919-)
神聖喜劇(1~5)(光文社文庫)各1100円 (71)

水上 勉(1919-2004)
飢餓海峡(上・下)(新潮文庫)各620円 (72)

庄野潤三(1921-)
庭のつるばら(新潮文庫)460円 (73)

三浦綾子(1922-1999)
塩狩峠(新潮文庫)660円 (74)

遠藤周作(1923-1996)
深い河(ディープ・リバー)(講談社文庫)620円 (75)

司馬遼太郎(1923-1996)
燃えよ剣(上・下)(新潮文庫)各780円 (76)

山崎豊子(1924-)
沈まぬ太陽(1~5)(新潮文庫)620~700円 (77)

武田百合子(1925-1993)
富士日記(上・中・下)(中公文庫)各980円 (78)

立原正秋(1926-1980)
冬の旅(新潮文庫)820円 (79)

北杜夫(1927-)
どくとるマンボウ青春記(新潮文庫)540円 (80)

藤沢周平(1927-1997)
蝉しぐれ(文春文庫)700円 (81)

田辺聖子(1928-)
ジョゼと虎と魚たち(角川文庫)500円 (82)

澁澤龍彦(1928-1987)
高丘親王航海記(文春文庫)629円 (83)

向田邦子(1929-1981)
阿修羅のごとく(文春文庫)620円 (84)

開高健(1930-1989)
輝ける闇(新潮文庫)540円 (85)

有吉佐和子(1931-1984)
和宮様御留(講談社文庫)660円 (86)

石原慎太郎(1932-)
太陽の季節(新潮文庫)540円 (87)

五木寛之(1932-)
青年は荒野をめざす(文春文庫)740円 (88)

井上ひさし(1934-)
國語元年(中公文庫)800円 (89)

筒井康隆(1934-)
東海道戦争(中公文庫)720円 (90)

阿刀田高(1935-)
ナポレオン狂(講談社文庫)540円 (91)

柴田翔(1935-)
されどわれらが日々(文春文庫)560円 (92)

塩野七生(1937-)
コンスタンティノープルの陥落(新潮文庫)500円 (93)

池澤夏樹(1945-)
スティル・ライフ(中公文庫)500円 (94)

中上健次(1946-1992)
枯木灘(河出文庫)599円 (95)

沢木耕太郎(1947-)
深夜特急(1~6)(新潮文庫)420~460円 (96)

三田誠広(1948-)
僕って何(河出文庫)620円 (97)

永山則夫(1949-1997)
無知の涙(河出文庫)924円 (98)

島田雅彦(1961-)
優しいサヨクのための嬉遊曲(新潮文庫)380円 (99)

よしもとばなな(1964-)
キッチン(新潮文庫)420円 (100)